



室内雪合戦

国境を越えたボーダレス・スポーツとして歴史を刻みつつある「YUKIGASSEN」。

現在 10 カ国で大会・イベントが行われ、その競技人口は世界へと広がりを見せている。チームは9名（出場は7名）の選手と1名の監督により編成。強い精神力と瞬時の状況判断力、そして巧みな戦術を生み出す知力が求められる。

敵の雪球から身を守るのは要岩シェルターと手に握る雪球のみ。シェルターに身を潜め、攻撃のチャンスをうかがう。敵陣のフラッグを奪うもよし、雪球で敵を倒し判定に持ち込むのもよし。白銀のコートには筋書きのない戦いとドラマが待っている！

- 用具： 雪玉（ゴムボール） 50個×2セット
- ゼッケン 色違い各7枚
- フラッグ（ぬいぐるみ） 2個
- シェルター（コンテナ等） 7か所

人数：1チーム 7人
実情に応じて人数は増減できます。

雪合戦のルール

【基本的なルール】

- 試合は3分3セットマッチ（2セット先取した方が勝ち）。
時間内（3分以内）に相手コートのフラッグを抜くか、雪球を相手チーム全員に当たった時点で勝ち（そのセットは終了）。
時間切れ（3分終了）の場合は終了時に残っている選手が多い方が勝ち。
- ノーバウンドの雪球に当たった選手は「アウト」となり、コート外へ出なければなりません（そのセットはプレーできません）。
味方の投げた雪球、自分の手を離れた雪球が当たってもアウトです。
- 相手コートに入れる選手は3名まで。（4人以上が入るとその時点で負け）
先に相手コートに入った選手がアウトになってコート外に出るまで入れません。

【試合の流れ】

- シャトーの裏に雪球ケースを置き、雪球を2個持ってバックラインの前に並び、審判の笛で試合を開始します。
- 審判のコールは基本的に「○番アウト！」のみ。
- 審判の笛による合図で終了。

（昭和新山国際雪合戦公式ルール）

【ネパールのローカルルール】

- ボールを3個もったら「アウト」
- 復活あり。
（アウト者はシャトー奥の壁にタッチしたら復活する）

